

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス リオカラフル・クラス			
○保護者評価実施期間	R7 年 11 月 1 日 ~ R7 年 12 月 6 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	2
○従業者評価実施期間	R7 年 11 月 1 日 ~ R7 年 12 月 6 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	R8 年 1 月 6 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援の質の高さと満足度	・お子様が、楽しみながら、目標・目的をもって通所できるよう、日々コミュニケーションを取ったり、お子様の意見を反映させながら支援計画や活動計画を立てています。 ・安心して通所していただけるような関係づくりも心がけています。	・お子様の小さな変化も見逃さないよう、スタッフ間で日々の気づきを共有、今後も継続して、楽しく、安心して通所していただけるような事業所運営を行っていきたいと考えています。
2	丁寧な情報共有と信頼関係の構築	お子様のその日の様子や成長の喜びを丁寧にお伝えし、信頼して預けていただけるよう日頃からの対話を大切にしています。	保護者様への丁寧な説明や、適切な事業所運営、通信などの発信も工夫し、事業所での活動内容をより身近に、わかりやすくお届けできるよう今後もより一層気を引き締めて取り組み、安心して通所していただけるよう努めていきたいと考えています。
3	安全管理と適切な環境整備	各種マニュアル(事故防止、防犯、感染症等)の策定と周知を行い、清潔で構造化された心地よい支援空間を維持している。	今後も継続して日々の様子を細かくお伝えしていくことで、お子様についての情報共有をしていきたいと考えています。また安全への備えを常にアップデートし、みんなが安心して過ごせる空間を維持することにも努めていきたいと考えています。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流・外部連携の不足	・普段の通園スケジュールとの兼ね合いもあり、地域の方々や他施設と触れ合う機会がなかなか持てずにいました。 ・また安全面を考え、事業所外活動を積極的に行えていない点が課題だと感じます。	保護者様の中には、当事業所において地域交流の必要性を感じていらっしゃる方や、安全上行わなくていいというご意見もある為、保護者様のご意見を反映しながら、より良い形で事業所プログラムを考えていきたいと考えております。
2	家族支援・交流機会の提供不足	・防犯やプライバシーへの配慮を優先するあまり、保護者様同士が気軽に悩みなどを共有できる場を作れていませんでした。 ・また事業所が日曜・祝日が休所日の為、保護者様に研修等で集まっていた日、平日の支援時間以外にないため、研修を行うことができていないことが課題と考えています。	保護者のニーズをアンケート等で改めて確認し、保護者同士が交流できる場の提供を検討していきます。
3	職員配置に関する透明性の向上	配置基準はしっかりと守っていますが、具体的にどのようなスタッフがサポートしているか等、お伝えしきれていない面がありました。	事業所内掲示や通信等を通じて、日々の職員配置体制や専門性を分かりやすく周知し、保護者の安心感をさらに高める工夫を行っていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス リオカラフル・クラス		公表日 R8 年 1 月 6 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		運営基準を満たした支援室となっている。	周囲な環境に過敏な特性をもつお子様に安心して通っていただけるよう定期的な環境構成の見直しができるといい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	現在外部による評価は受けていない。	必要に応じて検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		日々の子どもの様子に合わせて変化させている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		子どもの様子に合わせて支援を検討し、実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		6か月間の中でモニタリングを実施し、個別支援計画の見直し、検討を行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		保護者や相談支援専門員を通して情報共有をしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4		児童発達支援センターとは必要に応じて相談支援専門員の方を通して連携を図っている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4		保育所等への通園後に来所されるため、保育所などの交流はできていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		児童部会に参加している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		保護者の参加できる研修の実施はできていない。必要に応じて検討していく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		現在、父母会等の実施ができていない状況なので、保護者様にも意見を聞きながら必要に応じて検討する。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		防犯の観点から、利用者やその保護者以外の事業所への立ち入りをできる限り制限しているため、実施できない。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		医療情報一覧にまとめ、共有し、何かあったときに持ち出せるようにしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		アレルギー一覧表を作成し、共有している。現在は重症化が想定される児童の該当なし。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハット発生時には報告書を作成し、共有する。現時点では該当なし。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			